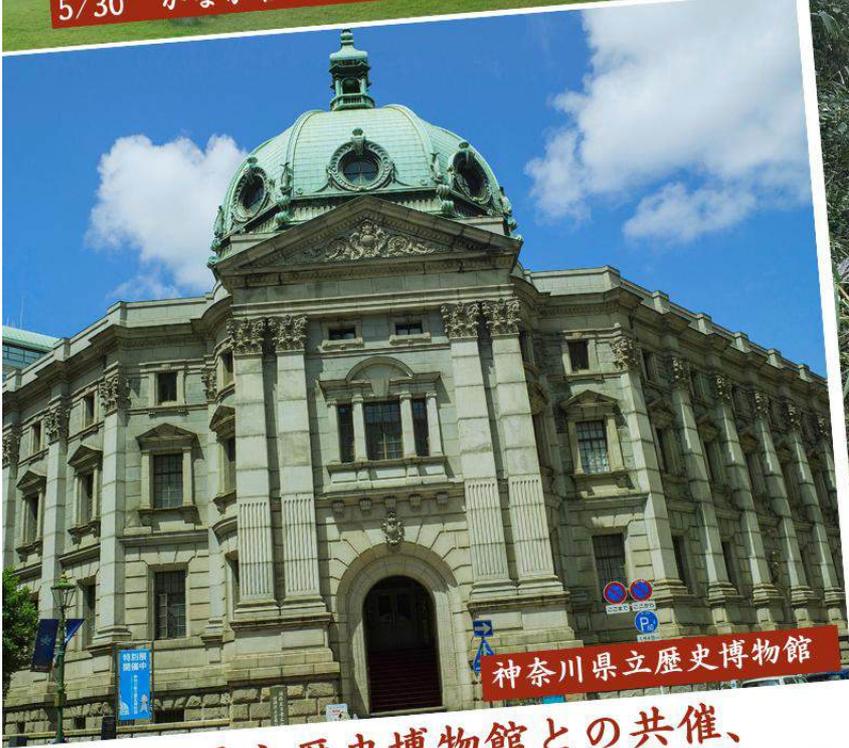




かながわの 文化再発見！ 歴史の



5/30 かながわの太古の住まい



神奈川県立歴史博物館

神奈川県立歴史博物館との共催、
学芸員講師陣による贅沢な連続講座！！

5/30・6/13・27・7/11・25 全5回

いずれも (土) 14:00~15:30

会場：大和市文化創造拠点シリーズ6階 大和市生涯学習センター601講習室

※講師と講座内容の詳細、申込方法は裏面をご覧ください。

主催：やまとみらい (大和市文化創造拠点等) 指定管理者 / 大和市生涯学習センター)

講座案内HP



6/13 深見城 (大和深見城) を探る



6/27 浮世絵に描かれたかながわ



7/11 近代神奈川美術



7/25 大山信仰について



01 【5月30日】 かながわの太古の住まい
講師：佐藤 兼理 氏 (神奈川県立歴史博物館 学芸員)



神奈川県内の旧石器～古墳時代にかけての住まいについてお話しします。
神奈川県は、先史時代に相模川や鶴見川の流域に数多くの集落が形成されてきました。
中には、全国的にも珍しい旧石器時代の住まいの痕跡がみられます。
本講座では、こうした豊富な住居の資料をもとに、先史時代の集落の様子を概観し、そこからどのような「家族」や「社会」の様子がみられるのかを考えていきます。

02 【6月13日】 深見城 (大和深見城) を探る
講師：梯 弘人 氏 (神奈川県立歴史博物館 学芸員)



大和市に城跡が残る、深見城 (大和深見城) についてお話しします。
深見城は室町時代から戦国時代にかけて築かれ、使われてきた城郭です。江戸時代に廃城となり、今は深見歴史の森の中でひっそりとそのたたずまいを残しています。
今回は①城の構造や立地、②発掘調査で見つかった考古遺物、③文献史学の研究成果という3つの観点から、この城の特徴や築かれた歴史的背景についてご紹介します。

03 【6月27日】 浮世絵に描かれたかながわ
講師：桑山 童奈 氏 (神奈川県立歴史博物館 企画普及課長・学芸員)



現在の神奈川県域では、東海道の宿駅や江戸から小旅行となる観光地 (江の島、大山、金沢八景ほか)、幕末に開港場となった横浜など、さまざまな場所が繰り返し浮世絵に描かれました。このような名所が初代歌川広重をはじめとする浮世絵師たちにどのように描かれたかお話しします。
また、大和市内も取り上げられた葛飾北斎の双六「鎌倉江ノ島大山新板往来双六」も詳しく解説します。

04 【7月11日】 近代神奈川美術
講師：角田 拓朗 氏 (神奈川県立歴史博物館 主任学芸員)



近代の神奈川美術を、当館コレクションと金子皓彦コレクションを中心に概観します。幕末明治の横浜から輸出された美術を皮切りに、箱根小田原に息づいた木工芸、大正昭和に至る画家たちの移住など、幅広く様々なトピックをご紹介します。神奈川という地域だからこそその美術の多面性、その理由は何なのか、講座を通じて考えていきます。

05 【7月25日】 大山信仰について
講師：新井 裕美 氏 (神奈川県立歴史博物館 主任学芸員)



相模平野から眺めると秀麗なピラミッド型をした相模大山 (1,252m) は、縄文時代から人々の信仰を集めてきました。大山は霊山として人々の年中行事、人生儀礼、生業に深く関わり、その信仰は関東一円にまで広がっています。
本講座では、神奈川県内の各地の事例をもとに、大山信仰の多彩なありさまを紹介します。

会場：大和市文化創造拠点シリウス6階 大和市生涯学習センター601講習室

定員：50名 (先着) 持ち物：筆記用具

対象：どなたでも (神奈川県在住・在勤の方優先)

※県外の方は、定員に空きがあり次第ご案内致します。

参加費：2,000円 (全5回分)

※学生の方は半額 (学生証をお持ちください)

※初回にお支払いください。返金できません。

※天候や交通機関の運行状況及びその他の不可抗力により、開催が中止となる場合がございます。
※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関でご来場ください。

受付開始：4月26日(日) 10:00～

お申込・お問合せ

046-261-0491

お電話、または6階生涯学習センター窓口へ

お申込はこちらのQRからも

